

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 29 年 1 月 16 日 (17:00~18:30)
------------------	-----	--------------------------------

1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	管理者 1 名、介護支援専門員 1 名、介護者 8 名
--------------------	------	-----------------------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	7 人	人	人	10 人

前回の改善計画	<p>家族、本人の不安に気づくアンテナを持つことによって気づきに敏感になる姿勢を養う 介護者本位の介護にならないように本人の話を聞く場面を持つことにより、不安感等の内面を察知できるようになる。 定期的なミーティングで本人についての考察を職員間で話し合い、深める 家族の窓口になっているケアマネが十分な情報収集をし、職員に情報提供する</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>不安感を察知する姿勢をもって取り組めたが、それを受け止めれない場合もあった ミーティングにより情報の提供、共有はできていたが、日々、症状、状態が変化する場合にそれに追いつかない場合があった</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	8	2			10
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	3	7			10
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	4	5	1		10
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	5	3		10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>利用前の職員会議、毎日のミーティングで職員間で情報交換、情報の共有ができている 送迎時の家族への声掛けを励行している 家族からの相談事は職員で話し合い早期に対応している</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>身体的なケアはできても、精神的に支えるケアができていない時がある 情報を共有したことが実践に結びつかないことがある 日々の変化に気が付かない時がある</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>利用前、利用後のミーティングで本人、家族の希望、情報を共有して身体面だけでなく精神面でもケアができるようにする 不安の察知、解消に努める</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 1 月 16 日 (17 : 00 18 : 30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 管理者 1 名、介護支援専門員 1 名、介護職 8 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1 人	5 人	3 人	1 人	10 人

前回の改善計画
表現できない人も含めて『わかろうとする姿勢、知ろうとする姿勢』をもって『自己表現(本人がどうしたいか)』について話しかけ、話題にしていく

前回の改善計画に対する取組み結果
できるだけ声掛けをして本人の声を引き出そうとするが『自己表現(本人がどうしたいか)』について深めることはできなかった
本人の希望がわかっても実現できないことが多い

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		3	6	1	10
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		5	4	1	10
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		4	5	1	10
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		7	3		10

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
本人の声を聴き、理解しようと努力し、それを職員間で話して共有し実践している
良かった介護、良くなかった介護を日々話し合い介護に生かしている

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
本人の言いたいことをうまく聞き出せない時がある
したいことがわかっても実現できないことがある

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
『本人がしたい事』の中でできることを考えて実現していく
『本人がしたい事』についてミーティングを持ち、考えを共有して実現に取り組む

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 1 月 16 日 (17 : 00～18 : 30)

3. 日常生活の支援

メンバー 管理者 1 名、介護支援専門員 1 名、介護職 8 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	8 人	1 人	人	10 人

前回の改善計画
受け入れ時、受け入れ後の定期的な自宅での生活環境についてケアマネが情報収集、情報提供し、情報を共有する 本人の声にならない声を言語化できるように日頃から観察、声掛けなどで意識していく
前回の改善計画に対する取組み結果
個人の状態などの情報提供、情報共有はできているが、家庭での様子がわからない人もいた 本人の声にならない声を引き出すのが難しく、日頃の声掛けが不十分と思えることもある

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?	1	3	3	3	10
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	5	5			10
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	6	3		10
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	4	6			10
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3	7			10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	体調や認知症の症状の変化に対して常時情報交換して統一した介護ができている 個人個人に合わせた介護、また臨機応変な介護ができている 情報を職員連絡帳に記入し継続的に情報を共有できるようにしている

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	個人に深くかかわることができない場合、本人の声にならない声を表すことができない 自宅での暮らしが十分わからない人がある 本人の能力が生かせてないことがある

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	本人とのかかわりを密にして声にならない声を言語化して介護に生かす 日々状況に合わせた介護が行えるように、観察し情報を共有して実践する 自宅の生活環境について情報収集して介護に生かす

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 1 月 16 日 (17 : 00～18 : 30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 管理者 1 名、介護支援専門員 1 名、介護者 8 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	3 人	4 人	1 人	10 人

前回の改善計画	本人の生きがい、人生観、価値観について情報収集し、それを介護に生かせるようにする
前回の改善計画に対する取組み結果	声掛けにより色々な話を聞き出すことはできていても介護に生かすまでにならないことが多い

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	5	3	1	10
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	3	5	2		10
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	3	5	1	10
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	8		1	1	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
地域の人、学童、保育園児が来所してかかわりが持て笑顔が見える 職員が得た情報は共有している 地元の各種役員について把握している	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
本人と地域との関係性は薄くなり、それに対する支援はできていない 本人の家での人間関係、行動のすべてはわからない	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
家族、地域との結びつき、人間関係について情報収集し、それがどのように介護に生かせるか考えていく	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 1 月 16 日 (17 : 00 ~ 18 : 30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 管理者 1 名、介護支援専門員 1 名、介護者 8 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5 人	5 人	人	人	10 人

前回の改善計画	<p>家族力、地域力を利用することなどを家族に情報提供していく 帰宅願望、入浴嫌いへの対応を考えていく 職員連絡帳の確認を徹底する</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>家族力についての情報提供はできた 帰宅願望、入浴嫌いへの対応を一本化し、スムーズに宿泊、入浴できるようになった 職員連絡帳を確認する意識はあったが内容を忘れることがあった</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	6	2	2		10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	7	3			10
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	5	5			10
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	4	5	1		10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>体調不良や緊急時の臨機応変な対応、帰宅願望、入浴拒否への統一した対応ができている その日その時の状態に合わせてすぐに対応を調整し、その情報を共有し実践できている 他の施設、自施設の能力、家族力について家族に説明している 隣の施設や地域の行事に参加できた</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>地域の資源を十分使えてない 家族のニーズにこたえきれない場合がある</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>家族力、地域力について家族に説明してそれらを利用していく 本人を取り巻く状況、本人の状態により必要とされる臨機応変な支援を行う</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 1 月 16 日 (17 : 00~18 : 30)

6. 連携・協働

メンバー 管理者 1 名、介護支援専門員 1 名、介護者 8 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	4 人	3 人	人	10 人

前回の改善計画	一般住民の来訪、ボランティアの誘いを積極的に行う 代表者が出席した会議、会合の内容を連絡帳などで情報共有する
前回の改善計画に対する取組み結果	新たなボランティアの受け入れができた

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	8		2		10
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	8		1	1	10
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	8		1	1	10
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	4	4	1	1	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 事業所の代表が会議などに参加し、各種機関と連携している 幼、小、中、学童、保育園児や地域住民の来訪がある 隣の施設や地域のイベントに参加できた
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 団体としては、民生委員、運営推進委員、老人クラブ、学校関係の来訪は複数回あったが、それ以外の来訪がなかった 地域の行事に参加できる人と参加できない人に分かれる こちらから他の施設を来訪することがない
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 他のサービス機関との会議の内容を職員間で共有する こちらから他の施設の訪問の実現など外部社会との交流をおこなう
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 1 月 16 日 (17:00~18:30)

7. 運営

メンバー 管理者 1 名、介護支援専門員 1 名、介護者 8 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4 人	4 人	2 人	人	10 人

前回の改善計画	事業所に意見を言いやすい環境を整える 定期的に家族、本人から苦情の聞き取りを行う 運営推進委員への聞き取りを行う
前回の改善計画に対する取組み結果	その都度事業所、運営推進委員とのやり取りはできていた 本人、家族へのアンケートなどの聞き取りができてなかった

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	4	3	3		10
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	6	2	1	1	10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	7	1	1	1	10
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	8		1	1	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 職員間の意見は日々の業務中や職員会議でできている 地域からの声、家族からの要望には早期に対応している 登録者以外、短期利用居宅介護事業また特例として長期の受け入れ(期間限定)など地域に必要とされる取り組みをしている
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 利用者、家族に対する個別の聞き取り(アンケート調査)ができなかった
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 本人、家族に要望、苦情の聞き取り(アンケートなど)を行い運営に反映していく 地域に必要とされる取り組みで地域に貢献する
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 1 月 16 日 (17 : 00～18 : 30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 管理者 1 名、介護支援専門員 1 名、介護者 8 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6 人	2 人	2 人	人	10 人

前回の改善計画	リスクマネジメント、ヒヤリハット報告について学習する 資格取得の研修参加についての体制を整える取組みを考える
前回の改善計画に対する取組み結果	外部講師の研修、施設内研修をしてもその場限りの研修になることがあった 資格を取る研修参加がなかった

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	7	3			10
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	6	2	2		10
③	地域連絡会に参加していますか	6		1	3	10
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	6	3	1		10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 外部講師を呼んだ研修を年 4 回、所内の学習発表研修を 6 回実施し参加しやすかった リスクマネジメント、ヒヤリハットの研修を複数回行った
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 外部へ出かけての研修参加は人数に限りがありできなかった 研修したことが実践できない場合があった
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 研修がその場限りにならないように、継続して学習し、実践の場を作っていく リスクマネジメントの学習を深めていく
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 1 月 16 日 (17 : 00～18 : 30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 管理者 1 名、介護支援専門員 1 名、介護者 8 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5 人	5 人	人	人	10 人

前回の改善計画	拘束、虐待、プライバシー保護について研修して実践する
前回の改善計画に対する取組み結果	外部講師による研修を行い、日頃から人権、プライバシーに配慮した介護ができた

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	4	6			10
②	虐待は行われていない	6	4			10
③	プライバシーが守られている	6	4			10
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	1		7	10
⑤	適正な個人情報の管理ができています	8	2			10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
本人にとって気持ちのいい介護ができた 個人情報に関する資料は安全に管理し、個人名の記載された会議資料などは会議終了後はシュレッダーにかけている 守秘義務を厳守している	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
適切でない声掛けの場合がある(大きな声、なれなれしい声掛け、丁寧すぎる声掛け、『～○○しないで～』などの抑圧的な声掛け) 安全のため短時間だが施錠、ベッド柵をしている 成年後見制度は利用者がいない	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
人権、プライバシー等について定期的な研修で法律的な情報を身に着け、実践していく	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	西粟倉村 社会福祉協議会	代表者	林 正之	法人・ 事業所 の特徴	住み慣れた自分の家、西粟倉村で生涯過ごせるように、家族の自宅での介護を支える『通い』『泊り』『訪問』のサービスを提供します。利用者が心安らぐことができ、持てる機能を維持できるように心のこもったサービスを顔見知りの地元スタッフが提供します 様々な戸外活動、地域との交流などを体験していただきます
事業所名	小規模多機能ホーム ひだまり	管理者	山根 順二		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	4人	人	1人	人	1人	2人	人	人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	評価の内容を細かく解説し、客観的に自分を評価できるマニュアルを作成する 時間をかけて行う	評価の内容をわかりやすく分析した。 自分の仕事を見つめなおす時間をかけることができた	質問項目にとらわれず必要な介護を行っていったらいいのではないか	自己評価の時期に振り返りをするのではなく、年数回、自己を見直す機会を作る
B. 事業所のしつらえ・環境	冬場の環境整備を進める 事業所を家族、推進委員によりオープンにしていく 利用者からの意見を聞く	建物の通路の改善ができなかった。 年6回委員と利用者との触れ合いの時間が持てた。アンケート調査などができなかった	家族会的な会を開く必要がある	家族会、もしくは利用者、家族を対象にしたアンケート調査を行う
C. 事業所と地域のかかわり	これから家族が介護の必要がある40、50代の住民に広報していく 広報誌を利用していく	年齢をターゲットにした広報はできなかった 年間4回、広報誌に活動を掲載した	広報誌に定期的に掲載してもらい、活動の内容を知ってもらえたらいいと思う	色々な場面で地域に向けて広報していく
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	利用者以外への関わりを広げる 地域の行事により積極的に参加していく	短期利用の住民を受け入れた。 地域の行事への参加は昨年並みだった	施設を利用しないと必ず引きこもりがちになる。戸外活動は本人だけでなく家族にとっても良い事だと思う	地域の人と触れ合う機会を増やす
E. 運営推進会議を活かした取組み	個人情報に配慮しつつ事例検討を行う 地域での取組みへの関わりについて話し合っていく	事例検討を行うことによって地域の問題点などに気付くことができた。『地域での取組み』についての意味を話し合った	施設の建物の欠点について改善するのは難しいようだが前向きに検討してほしい	会議で事例検討や研修を行い、地域に発信してもらう
F. 事業所の防災・災害対策	防災訓練を強化していく 地域との協力体制を具体化する	反省点はあるが昨年の防災訓練よりレベルアップできた 地域との連携が取れなかった	施設の近くへの消火栓の設置を具体的に進める必要がある 実際に訓練してみての反省を生かしてほしい	地域との連携について考える 反省を生かした災害訓練を行う (連絡、役割分担など)